

# 公募型共同研究の採択テーマを決定！

～クラウドと連携した5G・IoT・ロボット製品開発等支援事業～

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、クラウドと連携した5G・IoT・ロボット製品開発等支援事業を実施しています。この度、2026年度の公募型共同研究として開発型研究と実証型研究を募集しました。書類選考および面接選考による厳正な審査を行い、以下の5件のテーマを採択しました。

## 採択したテーマ

	採択テーマ	申請事業者（所在地）
開発型	3DGS高速デジタルツイン生成の研究開発	株式会社VRデザイン研究所(東京都千代田区)
	路面認識に基づく不整地対応ロボットの研究開発	株式会社Piezo Sonic(東京都大田区)
実証型	「環境変化・粉塵環境」対応自律移動型清掃ロボットの実証研究事業	Haloworld株式会社(東京都江東区)
	平時と災害時を支えるドローンポート事業	ブルーイノベーション株式会社(東京都文京区)
	屋内自律点検ドローン計測サービスの実証	株式会社モルフォ(東京都千代田区)

## 今回募集した公募型共同研究の概要 (参考URL: <https://www.iri-tokyo.jp/news/news-2026-3-5/>)

	開発型研究	実証型研究
研究目的	製品化やサービス提供等を目指す研究開発	フィールド実証実験を通じて製品化やサービス提供等の事業化を目指す研究開発
研究実施対象者	東京都内に登記簿上の事業所があり、かつ日本国内に活動拠点を構える中小企業者。またはその中小企業者を代表申請者※とし、中小企業、大企業、大学等の複数の法人で構成された共同体。※「実証型研究」のみ、代表申請者が中堅企業または大企業も可。ただし、創出される事業は中小企業が主体となること。	
研究の種類および要件	クラウド活用を前提とした通信機器・IoT製品・ロボットの製品化やサービス提供等を目指す研究開発。研究終了後、概ね1年以内に製品化を目指していること。	クラウドを活用した通信機器・IoT製品・ロボットのフィールド実証実験から、製品化やサービス提供等の事業化を目指す研究開発。研究終了後、概ね6か月以内の事業化を目指していること。
研究開発期間	2026年7月1日から最長1年間（2027年6月30日まで）	
委託上限額	1テーマあたり5,000万円※ ※「実証型研究」において、代表申請者が中堅企業または大企業の場合、全体経費の70%以上を中小企業者が使用すること。	

- 公募型共同研究とは：**
1. 事業化の実現可能性が高い開発テーマを広く募集（公募）
  2. 採択された研究開発を中小企業へ委託（委託研究として委託費を提供）
  3. 開発に必要な技術の一部を都産技研が共同研究として分担し、製品化・事業化を目指す

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
企画部研究企画室 渡邊 TEL 03-5530-2528  
企画部経営企画室 大原 TEL 03-5530-2521 E-mail: [koho@iri-tokyo.jp](mailto:koho@iri-tokyo.jp)

<https://www.iri-tokyo.jp/>